

**地方独立行政法人天王寺動物園 第一期リニューアル工事
基本計画策定等発注支援業務委託プロポーザル評価要領**

1. 評価要領の位置付け

本要領は、地方独立行政法人天王寺動物園 第一期リニューアル工事基本計画策定等発注支援業務委託プロポーザル募集要項に基づき、評価点の算出方法及び受託者の選定方法を示すものである。

2. 評価方法及び受託者の選定

- (1) 客観評価、業務実施方針評価、業務提案評価及び見積書評価を行い、受託候補者を選定する。
- (2) 客観評価は、事務局が参加者の同種・類似業務実績を元に参加者の評価を行う。
- (3) 業務実施方針評価及び業務提案評価は、「地方独立行政法人天王寺動物園 第一期リニューアル工事基本計画策定等発注支援業務委託プロポーザル審査委員会」（以下「委員会」という。）が業務提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングにより審査を行う。
- (4) 提出された業務実施方針及び業務提案は、提案者名を伏した上で提案者番号を付した後、付属資料を添えて各委員へ事前に配布する。事前に客観評価の資料を添付する。
- (5) 客観評価、業務実施方針評価、業務提案評価及び見積書評価の評価点合計は下記の通りとする。

評価項目	評価配点
客観評価	98.0
業務実施方針評価	80.0
業務提案書評価	120.0
見積書評価	10.0
総合計	308.0

- (6) 委員会は評価点総合計が最も高いものから受託候補者1者、次点候補者1者を選定する。

3. 客観評価

- (1) 参加者の評価及び各業務担当者の評価により審査を行い、配点基準の詳細は以下のとおりとする。

評価項目			判断基準		配点	
客 観 評 価	参加者の 評価	①同種・類似業務 の実績	①同種・類似業務の実績の区分係数		50.0	
		②業務担当実績	②業務担当実績の担当係数			
	各業務 担当者の 評価	①同種・類似業務 の実績 ②業務担当実績	①同種・類似業務 実績の区分係数 ②業務担当実績の 担当係数	管理技術者		6.0
				主任担当者	建築（総合）	6.0
					建築（構造）	6.0
					電気設備	6.0
					機械設備	6.0
					建設コスト管理	6.0
					工事施工計画	6.0
					ランドスケープ計画	6.0
合 計				98.0		

(2) 参加者の評価方法

参加者の同種業務及び類似業務の実績（様式4）（実績の区分及び件数）について評価を行う。募集要項Ⅲ4.（2）に該当する業務実績5件を1件当り基本配点10点として、区分係数及び担当係数を乗じた点数を合計し、最大50.0点として評価する。なお、同種業務の実績が1件以上あること。

① 基礎配点（最大で5件）

基礎配点
10.0

② 同種業務及び類似業務実績

実績	区分係数
同種業務	1.0
類似業務	0.5

③ 担当業務実績

担当業務	担当係数
3項目以上	1.0
うち2項目	0.8
うち1項目	0.5

※「担当業務」とは、設計等の各段階（基本計画、基本設計、実施設計の3段階）及びCM等の各段階（設計者・工事施工者・工事監理者等の選定・発注CM、基本設計CM、実施設計CM、工事CMの4段階）をそれぞれ1項目とし、担当した項目数の合計

*評価点の計算は下表のとおりとなる。

基礎配点 A	区分係数 B		担当係数 C		評価点 $A \times B \times C$	合計
10.0 (最大件数5)	同種	1.0	3項目以上	1.0	最大評価10.0 (5件で最大50.0)	50.0
			うち2項目	0.8		
	類似	0.5	うち1項目	0.5		

(3) 各業務担当者の業務実績（管理技術者、各主任担当者など）（様式5-1～8）

同種業務及び類似業務の実績（実績の有無及び過去の実績での立場）について評価を行う。平成23年4月1日以降に履行した設計等の各段階とCM等の各段階実績各3件を1件当り基礎配点2.0点に区分係数及び担当係数を乗じた点数を合計し、最大6.0点として評価する。

② 基礎配点（最大で3件）

基礎配点
2.0

③ 同種業務及び類似業務実績

実績	区分係数
同種業務	1.0
類似業務	0.5

④ 業務担当実績

過去の実績での立場	担当係数
管理技術者	1.0
主任担当者	0.8
担当者	0.6

※ 計算は下表のとおりとなる。

担当業務 分野（基礎配点） A	区分係数 B		担当係数 C		評価点 A×B×C	合計
管理技術者 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.0	48.0
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
	類似	0.5	管理技術者	1.0		
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
建築（総合） (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.0	
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
	類似	0.5	管理技術者	1.0		
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
建築（構造） (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.0	
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
	類似	0.5	管理技術者	1.0		
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
電気設備 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.0	
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
	類似	0.5	管理技術者	1.0		
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
機械設備 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.0	
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
	類似	0.5	管理技術者	1.0		
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
建設コスト管理 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.0	
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
	類似	0.5	管理技術者	1.0		
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
工事施工計画 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.0	
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
	類似	1.0	管理技術者	1.0		
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
ランドスケープ計画 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.0	
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		
	類似	1.0	管理技術者	1.0		
			主任担当者	0.8		
			担当者	0.6		

4. 業務実施方針評価

(1) 業務実施方針評価方法

ア 業務実施方針は提案者の名を伏した上で、その内容についてのプレゼンテーション及びヒアリングの結果を含め、本要領に基づいて各委員が評価する。

イ 評価項目及び評価基準、配点は、以下のとおりとする。

(2) 業務実施方針【外部委員×3人・内部委員×2人】最高80点（様式6-2）

評価項目	評価基準	配点	
		外部委員	内部委員
本業務に対する提案者の 取組方針と体制	取り組み意欲の高さや積極性	各10.0	各5.0
	発注者を支援する姿勢、 業務への工夫、配慮	各10.0	各5.0
業務実施方針に対する持ち点 外部委員の持ち点は20点・内部委員の持ち点は10点		60.0	20.0
合 計		80.0	

(3) 採点は業務実施方針のプレゼンテーション及びヒアリング終了後、各委員が以下の評価水準に基づき評価する。

評価項目	評価水準	評価点	
		外部委員	内部委員
取り組み意欲の高さや 積極性について	提案が極めて優れている	10.0	5.0
	提案が優れている	8.0	4.0
	提案が適切である	6.0	3.0
発注者を支援する姿勢、 業務への工夫、配慮について	提案がやや劣っている	4.0	2.0
	提案が劣っている	2.0	1.0

5. 業務提案書評価

(1) 業務提案書評価方法

ア 業務提案書は提案者の名を伏した上で、その内容についてのプレゼンテーション及びヒアリングの結果を含め、本要領に基づいて各委員が評価する。

イ 評価項目及び評価基準、配点は、以下のとおりとする。

(2) 業務提案書（テーマ1～2）【外部委員×3人・内部委員×2人】最高120点（様式6-3）

評価項目	評価基準 (テーマ毎に評価する)		配点	
			外部委員	内部委員
【テーマ1】 基本計画策定業務における 獣舎計画の具体的なあり方について。	本業務委託の与条件を十分に理解した 提案となっているか	理解力	各10.0	各5.0
	論理的な裏付けに基づいた実現性のある 提案となっているか	実現性	各10.0	各5.0
【テーマ2】 自由提案	本業務委託を十分に理解した提案とな っているか。	提案力	各10.0	各5.0
業務提案に対する持ち点 外部委員の持ち点は30点・内部委員の持ち点は15点			90.0	30.0
合 計			120.0	

(3) 採点はプレゼンテーション及びヒアリング終了後、各委員が以下の評価水準に基づき評価する。

評価項目	評価水準		評価点	
			外部委員	内部委員
業務提案 (テーマ1～2) の提案に対する評価	テーマ毎の評価基準 に照らして	極めて良好な提案である。	10.0	5.0
		良好な提案である。	8.0	4.0
		十分な提案である。	6.0	3.0
		やや不十分な提案である。	4.0	2.0
		不十分な提案である。	2.0	1.0

6. 参考見積書評価方法【10点】（自由書式）

評価項目	評価基準	配点
参考見積書	提出された参考見積書の見積金額（税込）に、次の算出式により 評価点を算出する。算出した評価点に端数が生じる場合は、小数 点第二位を四捨五入する。 ※A＝（最低見積金額／提案見積額）×10.0	10.0